

②生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上

## 地域で流通する加工用米を用いたトレーサビリティー清酒『まるごと秋田清酒』の開発

トレーサビリティーが明確な地元産加工用米のたんぱく質含有量の管理と醸造技術との融合による、アミノ酸含有量が少なく軽快な酒質で、“酒の秋田”を強く感じる『まるごと秋田清酒』の製品化と販路拡大を図る。

### 連携体

農林漁業者 **JAこまち（協同組合）**

管轄区域内の生産者と地元産加工用米の生産に取り組み、トレーサビリティーが明確な加工用米を新規醸造用に供給する。

中小企業者 **秋田銘醸(株)（酒類製造業）**

トレーサビリティーの明確な地元産加工用米を活用し、新清酒製品の開発・販路拡大を行う。

サポート機関等 **秋田県湯沢市、地域活性化支援事務局**

### 連携の経緯

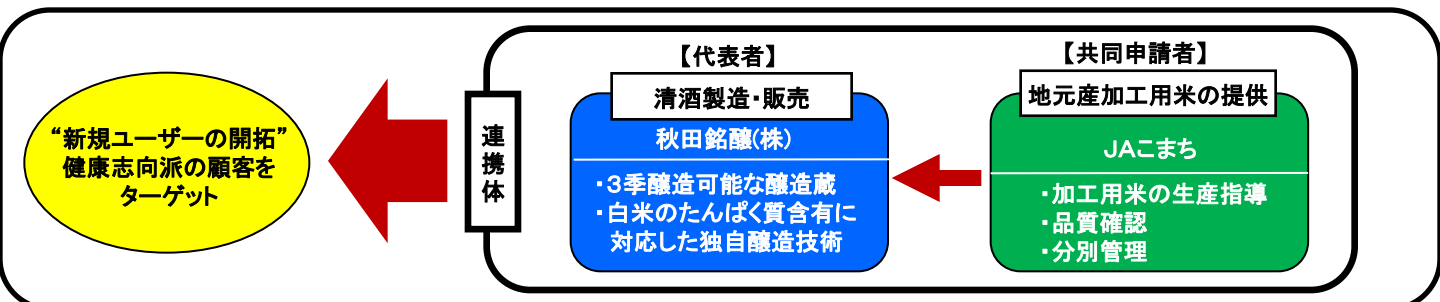
純米酒製品の大半の原材料表示は「米」表示のみであり、生産者、生産地までは明記されていない。

秋田銘醸(株)は、消費者嗜好に合った商品開発の必要性を感じ、トレーサビリティーが明確である加工用米の入手を希望していた。そこで、農業技術の向上及び生産履歴記帳推進による特性ある産地取り組みを行っているJAこまちと連携を行うことになった。



### 連携に当たっての課題や工夫等

JAこまちでは、地元産加工用米の栽培により、品種名・産地名・生産者が明確な純米酒用の加工用米（あきたこまち）が確保されトレーサビリティー構築が可能となる。秋田銘醸(株)では、独自の醸造技術を用いて純米酒を製造することで、アミノ酸含有量が少なく軽快な酒質で、コストパフォーマンスに優れた安全・安心で健康にこだわる消費者に認知してもらえる商品展開を行う。



### 連携による効果

農林漁業者 **3年で連携事業による売上高4,750万円、水田農業経営の安定と発展**

トレーサビリティーシステムの構築と流通システム省力化により地域内生産・需要の増加に繋がる。

中小企業者 **3年で新商品の売上高1億円、新商品による販路開拓**

コストパフォーマンスに優れた安全・安心な一連の商品群を順次開発、差別化できる商品力の強化が期待される。

### 代表企業等の連絡先

企業等名：秋田銘醸株式会社  
 TEL：0183-73-3161  
 E-mail：kenkyu@ranman.co.jp

所在地：秋田県湯沢市大工町4-23  
 FAX：0183-72-3247  
 ホームページ：http://www.ranman.co.jp/